

令和5年度 県民総ぐるみ「地域・学校づくりのつどい」が9月29日(金)に宮崎地区、10月5日(木)に南那珂地区、10月19日(木)に児湯地区で開催されました。

今回の研修では、元島根県益田市教育委員会ひとづくり推進監の大畑 伸幸氏より「地域と学校の連携・協働について」と題して講話がありました。地域の方々との『対話』を通して多様な価値観や生き方に触れ、どんな環境でも生き抜く力(世界のどこでも活躍できる力)を身に付けたり、地元に戻ってくるような思いを育てたりしながら持続可能な人づくりや地域づくりにつなげていくという大変参考になる内容でした。



【講話の様子】

講話とあわせて、それぞれの地区の実践発表も行われ、講話、実践発表を通して「地域・学校が一緒になって、子どもたちとともに何ができるか」というテーマでワークショップを行いました。



【ワークショップの様子】

各学校と地域の実践発表を紹介します。

【宮崎地区の発表】

- ・「高岡ゆめパーク学習Kids編」の取組紹介
- ・学習を通して学校と地域にある壁を取り除く
- ・学校と保護者ぐるみを意図的に仕掛け、地域連携を推進する
- ・課題を共有し、解決の知恵を出し合うことを通して、地域の人材づくりができる



中部教育事務所のホームページにそれぞれの発表資料を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

- 宮崎地区
宮崎市立高岡小学校 泥谷 祐一郎 教頭
高岡地区学校運営協議会 永吉 聡 氏
- 南那珂地区
日南市立南郷小学校 田中 寿幸 教頭
日南市地域学校協働活動推進員 矢野 富子 氏
- 児湯地区
木城町立みどりの杜木城学園 佐藤 健一郎 校長
木城町教育委員会地域コーディネーター 大山 博志 氏



【南那珂地区の発表】

- ・熟議と南郷の魚を使った食育等の取組紹介
- ・推進員が地域とつながった持続可能な活動にしたりするコツ
- ・「依頼しやすさ」「動きやすさ」「つながりやすさ」「実現しやすさ」などの『安心感という土壌』が学校と地域の協働を生む



【児湯地区の発表】

- ・学校運営協議会と「コスモス大作戦」等の取組紹介
- ・地域学校協働活動の「コーディネート機能」「多様な活動」「継続的な活動」の具体的内容
- ・無理のない協働活動及び学校と地域の方々にとって有意義な活動が、地域に元気と勇気を与える



高岡小学校・南郷小学校・みどりの杜木城学園とその地域の取組を参考に、**地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進**を各学校・地域で実践していきましょう。

問合せ先: 中部教育事務所 TEL (0985) 44-3322 Fax (0985) 44-3330
(担当: 酒匂) 代表アドレス chubu-kyoiku@pref.miyazaki.lg.jp

中部教育事務所は、各学校のマネジメント力を高め、チーム学校としての教育力向上を支援します。

【本時で育成する資質・能力】 グラフから読み取ったことに対して疑問をもつことで、意見の形成を図ることができる。
（思考力・判断力・表現力）

【導入段階】本時の内容を捉えさせる

③理由を考える
そう思う
そう思わない

②立場を決める

①グラフを読み取る

読書冊数が一番多い小学生が中高生より読書をたくさんしていると言えるでしょうか。

グラフや表を用いて書こう

めあて
グラフや表を引用して、学級のみんが納得する意見文を書くにはどうすればよいだろうか。

今日から意見文を実際に書くことを目指して学習をしていきましょう。

意見文は、今まで説明文で学習してきた、文章構成、グラフや表の引用、引用する言葉を活用して書くことが大切です。

今日は、特に重要な「意見の持ち方」について学習しましょう。

【めあて】

グラフや表を引用して、学級のみんが納得する意見文を書くにはどうすればよいだろうか。

【展開段階】個人→グループ→全体の流れで最適解・納得解を導く

◎ グラフを全体で読み取った後

読書冊数が一番多い小学生が中高生より読書をたくさんしていると言えるでしょうか。

「意見をもつ3ステップ」

- ①グラフを読み取る
- ②立場を決める
- ③理由を考える

意見をもつ3ステップで考えましょう。

①個人思考

◎ 個人の考えを記入する時間を確保する。

視点：立場を決めて、理由を生活経験等から考える。

小学生の読む本は、中高生が読む本より薄いから、小学生のほうが読書量が多いとは言切れない。

中高生が読む本は小学生が読む本より難しいからすぐ読みきれない。でも読書をしていないというわけではない。

お姉ちゃんをみていると中高生は部活や塾、テストなどがあっていそがしいからほとんど本を読んでない。

中高生はSNSやインターネットなど他の面白いことに興味をもっているから読書量は減る。

②協働的な学び

◎ グループは1班4名をイメージ

小学生の読む本は、中高生が読む本より薄いから、小学生のほうが読書量が多いとは言切れない

○ ○さんの選んだ立場で考えてなかったけれど、確かに一理あるなあ。

● ●さんと同じ立場だけど、理由が違う。でもよく考えたら似たようなことが自分にもあるな。

お姉ちゃんをみていると中高生は部活や塾、テストなどがあっていそがしいからほとんど本を読んでない。

中高生が読む本は小学生が読む本より難しいからすぐ読みきれない。でも読書をしていないというわけではない。

個の学びの深まり

◎ 協働的な学びを経て個が深まる。

確かに中高生は読書だけでなく興味の幅が広がるな。だからといって、読書量が少ないとは言切れないな。

ぼくのお姉ちゃんだけではなく、○ ○さんのお兄さんも同じだったな。● ●さんが言っていた、小学校で毎週あった図書の時間が中学校でないのも理由の一つなんじゃないかな。

③全体での共有

◎ 最適解・納得解を導くために教師がどのように共有させていくかがポイントになる。

小学生

時間があがる
授業で図書館に行く

本が薄い
内容が簡単

そう思わない
私は、そう思いません。理由は～。

中学生

部活やテスト勉強で時間が少ない
授業で図書館に行かない

本が厚い
内容が難しい

ぼくは、そう思います。理由は～。

最適解・納得解

みんなの考えをまとめると、確かに小学生に比べて中高生は読書冊数は減るけれども、読む本の内容や文字数を考えると、読書量が少ないとは言切れないということですね。

【まとめ】

学級のみんが納得する意見文を書くには、①グラフを読み取る②立場を決める③理由を考えるの3ステップがあり、自分の生活経験やもっている知識と結び付けて意見をもつことが大切である。

最後に今年の5年生が書いた意見文を紹介します。
◎ モデル文として読んで聞かせ、次時への意欲を高める。

【終末段階】内容の習熟を図る時間 今日の時間の振り返りを行う

◎ 振り返ることで、学んだことを実社会・実生活で生かそうとする。

グラフから読み取ったことだけではなく、普段の生活の中でも本当にそうなのだろうか、疑問をもつことが大事だな

3ステップの理由を考えるときは、自分の経験と結びつけるといんだな。

題材： 小学校第5学年算数（啓林館）『割合』 11～12月予定

【本時で育成する資質・能力】 日常の事象における数量関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量関係を考察し、それを日常生活に生かすこと。
 (思考力・判断力・表現力等)

【導入段階】単元の学習内容を振り返り、本時の課題を捉えさせる

お得なサービス券
200円引き
 または **20%引き**

【商品が500円の場合】
~~200円引き~~
 $500 - 200 = 300$ **300円**
~~20%引き~~
 $500 \times 0.8 = 400$ **400円**

【商品が2000円の場合】
 200円引き
 $2000 - 200 = 1800$ **1800円**
 20%引き
 $2000 \times 0.8 = 1600$ **1600円**

みなさんなら、どちらの割引を使いますか。

※ 「値引き」と「割引き」を合わせて「サービス」ということにする。

200円も引かれるのなら、200円引きがいい。

どちらがお得になるかは、もとのねだんによって変わってくるかもしれない。

【めあて】 (値引きと割引きは、) どちらがお得なのだろうか。

【展開段階】自分で条件を設定して、個人→グループ最適解・納得解を導く

①個人思考

式だけでなく、図や表などを使って考えることを促す。

500円と2000円の間何かヒントがあるのではないかな？

300円から順に100円ずつ上げていって考えてみよう。

この前は図をかくて考えたら、うまくいったから……。

「ねだんが分からないとどちらがお得か分からない。」など、児童によっては自分で条件を設定できないことも考えられる。
 その場合には、教師が値段を設定するのではなく、「例えば○○○だったら」など児童自身で設定できるように促し、できたらその姿を称賛する。

③各班の考えを全体で協議

(共通項+追加項+異なる考え)

全ての班のまとめを整理すると……

④協議を経てまとめる【まとめ】

値段が高ければ割引きがお得で、値段が低ければ値引きがお得である。

割引きと値引きの境目は値段によって違ってくる。

②協働的な学び 各班の最適解・納得解

2つのサービスには、お得になる境目があり、値段によってお得な方が変わる。

追加項は？ **つまり** 共通項は？ **例えば** 異なる考えは？

600円と1200円で比べた場合 + 数直線で比べた場合 + 表で比べた場合

・ $600 \times 0.2 = 120$ 円だから、200円引きの方がお得になる。
 ・ $1200 \times 0.2 = 240$ 円だから、20%引きの方がお得になる。

もとのねだん	20%引き	200円引き
¥300	¥240	¥100
¥400	¥320	¥200
¥500	¥400	¥300
¥600	¥480	¥400
¥700	¥560	¥500
¥800	¥640	¥600
¥900	¥720	¥700
¥1,000	¥800	¥800
¥1,100	¥880	¥900

【終末段階】本時の学習を活かし、習熟を図り、学びを深める。

レベル② 「実社会・実生活での活用をイメージした」場合

太郎君はどうしてもほしかった5000円のゲームが安くなることを聞き、お店に行った。すると、右のような2種類のサービス券を配っていた。しかし、太郎君はどちらのサービス券を使っても値段は変わらないことが分かった。

お得なサービス券
1500円引き
 または **30%引き**

太郎君がそのような考えた理由を図や式などと、40字以内の文章で説明してみよう。

計算してみると、
1500円引きの場合
 $5000 - 1500 = 3500$ 3500円
30%引きの場合
 $5000 \times (1 - 0.3) = 3500$ 3500円

このサービス券の場合は、お得になる使い方の境目は5000円になるかもしれない。

【本時で育成する資質・能力】 観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えることができる。（思考力・判断力・表現力）

【導入段階】本時の課題を捉えさせる

漢詩

言語活動


表現の効果に着目して、作品のよさを語り合おう。

春望 杜甫

「めあて」には、作者のどんな思いが込められているのだろう。

前は、「春暁」「黄鶴楼にて孟浩然の広陵…」で情景や心情の読み取りを行いましたね。

今日は、「春望」です。みなさん、題名「春望」から、どんな詩だと想像しますか？



【めあて】 「春望」には、作者のどんな思いが込められているのだろう。

【展開段階】個人→グループ→全体の流れて最適解・納得解を導く

①個人思考 ◎ 個人の考えを記入する時間を確保する。

③各班の考えを全体で協議

作者の心情について、個人で口語訳と参考資料から読み取る。


1班	2班	3班	4班	5班	6班
家族と離ればなれになっているのだから、つらい思い。	戦争が関わらず、とても悲しいという気持ちを、自分ごとで感じている。	家族と離ればなれになっているのだから、つらい思い。	家族と離ればなれになっているのだから、つらい思い。	家族と離ればなれになっているのだから、つらい思い。	戦争が関わらず、とても悲しいという気持ちを、自分ごとで感じている。

ポイント! 参考資料は、教科書P293～P295「望郷の詩 杜甫と李白」をコピーして生徒に配付します。

みなさんのまとめを見てみると…

「戦乱の世の中」や「つらい思い」という言葉は必要だと思います。「家族と会えない」という言葉も…

「草木や花、鳥」などの情景を表す言葉が、何を表しているんだろう？



「家族との別れを悲しんでは」というところから、家族と離れて戦いに行っていることが分かるね。

「戦乱の時代を思うと花を見ても涙が落ち」とあるよね。戦いがつらいということが分かるね。

「咲いてる花」や「にぎやかな鳥の声」から、春の明るい感じがするね。

④協議を経てまとめる

ポイント! 個人思考→協働的な学び→全体協議で深まった自分なりの考えを、まずは自分でまとめさせてみましょう。

②協働的な学び 各班で考える 最適解・納得解

ある班の対話例

「家族との別れを悲しんでは」というところから、家族と離れて戦争に行っていることが辛いという思いだね。


「家族からの手紙が貴重だ」という表現もあるね。家族と離れている辛さを強調している表現だね。

【まとめ】

家族と会えず長く続く戦乱の世に対するつらい思いと、変わらず訪れる春（季節）のはかなさを詠んだ詩である。


情景から読み取ると、「美しい花」とか「鳥の鳴き声」という春っぽい明るい表現があるね。参考資料に、「人」と「自然」の対比ってあるよ。

今日の学習を通して、改めて「春望」ってどんな意味なんだろう？



ポイント! 「例えば」や「つまり」などの言葉で考えを整理します。口語訳や参考資料に立ち返るなどしながら班でまとめます。

ただ、「春が早くきてほしい」という意味だけではなく、戦争が終わらず家族と離れてつらいという思いから…



題材： 中学校第2学年数学（啓林館）「図形の性質と証明『2節 四角形』」 | 2月予定

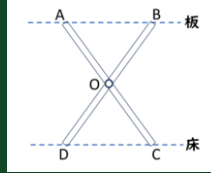
【本時で育成する資質・能力】 (思考力・判断力・表現力) 三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用すること

【導入段階】場面の状況を整理し、問題を設定する。

かりんさんの家には、折りたたみ式テーブルがあります。折りたたみ式で、使わないときにはたたんで収納することができます。調べてみると、テーブルの板と床の面がいつも平行になりそうです。



テーブルの仕組みを調べて、真横から見た図で表すと、次のようになっていました。
(ア) 2本の脚は点Oで固定されており、点Oを軸として動く。
(イ) 点OはACとBDの中点になっている。



◎本時は、これまで学習してきた三角形や平行四辺形の基本的な性質を活用して具体的な場面で説明できることが目標である。

これまで学習してきたことを使って、平行であることを説明できないだろうか？



【めあて】 テーブルの板と床の面は、なぜいつも平行になるのだろうか？

【展開段階】既習事項をもとに個人→グループで最適解・納得解を導く

①個人思考

※平行であることを説明するために、「対角線」や「錯角」に着目して考えていく。

【考え方①：四角形に着目する】
AO=CO、BO=DOならば、四角形ABCDは、どのような四角形と言えるのかな？



【考え方②：平行線の錯角】
「錯角が等しいから平行である。」ことを、 $\triangle OAB$ と $\triangle OCD$ が合同であることの証明から言えないかな？



【考え方①】、【考え方②】から証明を考え、テーブルの板と床の面が平行になる理由を説明しましょう。



③条件を追加して思考する

かりんさんが自分で折りたたみテーブルを作ったら、テーブルの板と床の面が平行になりませんでした。



平行でないということは、【考え方①】や【考え方②】の説明ができなくなったということだよな？



これまで考えてきた証明や説明のどこが成り立たなくなったのかな？



なぜ、平行にならなかったのか、【考え方①】、【考え方②】の証明を使って説明しましょう。



②協働的な学びⅡ 生徒同士の教え合い

【考え方①】、【考え方②】それぞれの証明を考えましょう。



まずは個人思考
※必要に応じて個別にヒントを示す

「協働的な学び」を取り入れて生徒同士の教え合い学習

④協議を経てまとめる

テーブルの板と床の面が平行なのは、
①平行四辺形の向かい合う辺は平行である。
②三角形の合同の証明から、対応する角（錯角）が等しいから平行である。・・・のどちらからでも説明ができる。
【この説明ができなければ平行にならない。】

③協働的な学びⅠ 各班での学び合い

テーブルの板と床の面が平行になる理由を説明しましょう。



つまり

例えば

- 対角線の等しい四角形は平行四辺形である。
- 平行四辺形の向かい合う辺は平行である。
- $\triangle OAB \cong \triangle OCD$ より、対応する角は等しい。
- 錯角が等しいから $AB \parallel CD$ である。

【家庭学習へのつなぎ】

※「教科書 153頁 問2 と、153頁 ステップ3」を家庭学習として取り組ませ、次時に解答、解説をすることで本時の学習内容の習得、向上を図る。

【次時の授業】

※令和5年度の「全国学力・学習状況調査」の図形の問題に取り組みさせることで、更なる定着を図る。

点OがAC、BDの中点でなくともテーブルの板と床の面が平行になるためにはどのような条件になるのか、考えさせる授業実践をしてみてください。

